

鳥獣被害対策の推進

ねらい

これまで、積極的に侵入防止柵の整備を行ってきましたが、その効果については、住民の高齢化、後継者不足等から地域ぐるみの取り組みが困難だったり、合意形成に時間を要する事案が散見され、十分な効果を上げていない集落も存在します。

そこで、地域ぐるみの被害防止活動、侵入防止柵の設置、有害捕獲対策を推進するとともに、指導的役割を担う人材育成を図ります。

活動地域・対象

地域：県下全域

対象：鳥獣被害対策担当者

普及活動の目標

- 1 鳥獣被害対策指導者の資質向上
- 2 モデル集落の育成

目標に向けた活動概要

1 鳥獣被害対策指導者の資質向上

鳥獣被害対策についての県内外での優良事例の情報収集・発信や被害対策講演会を開催し、鳥獣被害対策の正しい知識・技術の普及に努めました。

- ・鳥獣被害対策専門員と、現地調査、研修会、座談会、現地指導等を実施しました。
- ・研修会、講習会、シンポジウム等を開催し、指導者の資質向上を図りました。

2 被害防止対策の実施

集落での勉強会や、地域住民らによる集落点検を実施し、新たな侵入防止柵の設置、既存侵入防止柵の機能維持及び機能強化等に努めました。



鳥獣被害対策シンポジウム



集落で実施する追い払い実演

普及活動の成果

1 鳥獣被害対策指導者の資質向上

鳥獣被害対策について、鳥獣被害対策の正しい知識・技術の普及に努めました。

- ・指導員養成研修 実技研修を中心に4回開催（6月、9月、10月、3月）。
- ・鳥獣被害対策シンポジウム 集落ぐるみの対策について講演（10月6日 約70名参加）。

これらの取り組みにより、関係機関担当者間の連携や担当者の資質向上が図られました。

2 被害防止対策の実施

・被害防止を図るための現地調査を実施しました。 実施地区 8地区

・うち三好市、上勝町、那賀町（3地区）において、モデル集落を設置、被害防止対策を実施。

こうした、地域住民が参加した勉強会や、集落点検を実施することにより、地域の実情に合致した追い払いや侵入防止等に対する意識の醸成が図れました。



指導員養成研修（実技研修）



モデル集落での集落点検

用語説明	モデル集落：被害防止対策を効果的に行うために必要な、会合・保守点検等モデル的な取り組みが行える集落。
------	--

今後の発展方向

- 1 モデル集落毎に異なる目標が達成できるよう、専門員、普及センターと連携を強化します。
- 2 付近住民からの被害状況聞き取り調査等による現況確認を強化します。
- 3 効果の高い対策とするため、センサーカメラ等を設置し被害発生状況をモニタリングします。

関係者からの声

市 町 村：防護柵等に対する維持管理作業の必要性を、住民に再認識してもらう必要がある。
地域住民：被害の裏付けに、自動撮影カメラによる動画での説明は、わかりやすい。
集落点検を行って、維持管理はとても大変だが、管理のポイントはよくわかった。

高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922